

# 長野農業農村支援センターだより

令和6年6月号

## 「アグリセミナー りんご講座」の開講式・第1回講座を開催しました



講座の様子（りんご栽培の1年について）

5月1日に、JA ながのながのフルーツセンター会議室で「アグリセミナー りんご講座」の開講式及び第1回講座を開催しました。

アグリセミナーは、就農1年目～3年目程度でりんご栽培を本格的に目指す方を対象に、栽培の基礎知識や技術を学んでいただくことを目的としたセミナーです。毎年、長野農業農村支援センターとJAながのが共催で開催しており、今年度で15年目を迎えます。

当日は年度初の講座で、受講者11名全員にご参加いただきました。開講式では、自己紹介を兼ねて、受講者の皆様からりんご栽培の目標やセミナー受講の抱負をお話いただきました。また、第1回は「りんご栽培の1年」と「防除暦の見方」及び「摘花・摘果の基礎」について学んでいただきました。

今年度のセミナーは全8回の講座を計画しており、時期ごとの栽培管理方法について講座を開く予定です。支援センターでは、1年を通して受講者の皆様からりんご栽培への理解を深めていただけるよう、取り組んでまいります。

発行 長野農業農村支援センター 技術経営普及課

〒380-0836 長野市大字南長野南県町 686-1

電話 026-234-9536 FAX 026-235-8393

Eメール [nagano-aec@pref.nagano.lg.jp](mailto:nagano-aec@pref.nagano.lg.jp)

URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/nagachi/nosei-aec/index.html>

# 目 次

## ○農作物の生育状況

---

- ・ 5月15日現在 ..... 1

## ○農作物技術情報(6月)

---

< 作物 >	.....	2
< 果 樹 >	.....	5
< 野 菜 >	.....	8
< 花 き >	.....	12
< 畜 産 >	.....	14
< き の こ >	.....	17

## ○地域のできごと

---

- ・ 小川村で雑穀講習会を開催しました ..... 18
- ・ 令和6年度長野地域フラワーセミナー開講式・第1回を  
開催しました。 ..... 19

## ○農業農村振興課から

---

- ・ 信州の環境にやさしい農業定着・拡大支援事業 申請者募集中! ..... 20
- ・ クマ注意喚起 ..... 22

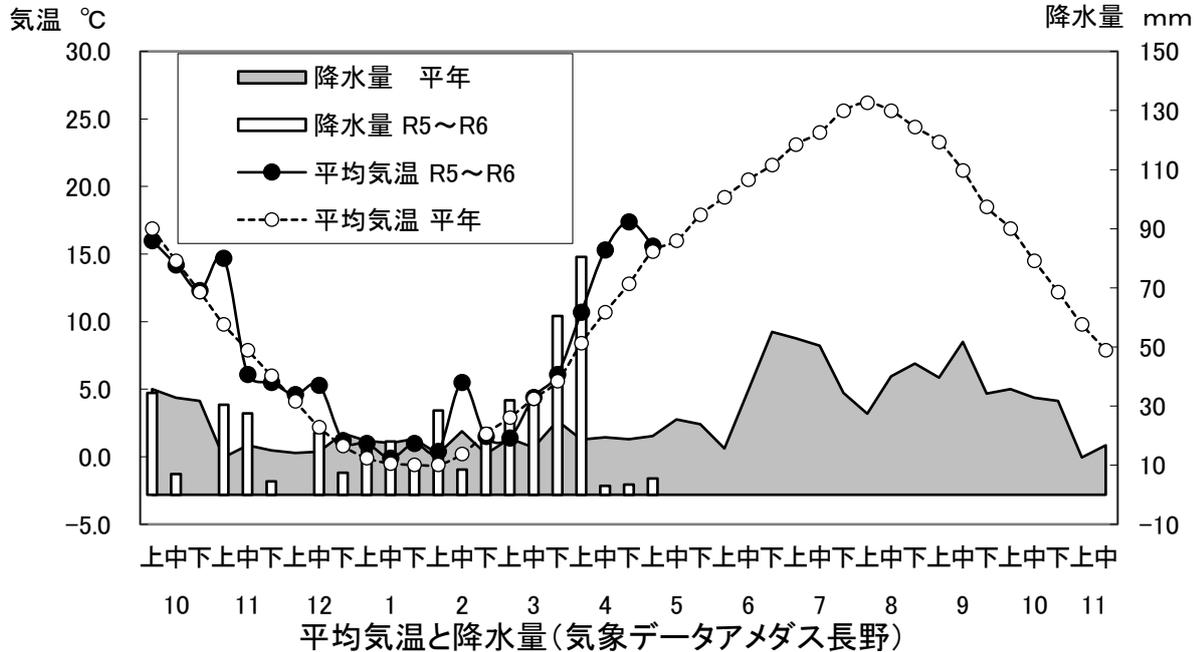
## ○来月の予定 ..... 24

# 農作物の生育状況（5月15日現在）について

令和6年5月15日

長野農業農村支援センター

## 【気象データ】



## 【麦類】

千曲市のシュンライは4月22日、ユメセイキは5月2日、長野市の標準播種ハナチカラ、しゅんようは5月7日頃、12月播種のハナチカラ、しゅんようは5月14日頃に開花始めとなった。管内では開花期防除が始まっている。11月上旬までに播種された麦は茎数過剰傾向で、長野市のハナチカラの一部でなびき倒伏が確認されている。また、長野市の河川敷ではアレチウリ、オオブタクサ、カラスムギ等の雑草が多発している。

## 【果樹】

りんご「ふじ」の落花は長野市共和地区で4月28日と平年より2日早く、昨年より6日遅い。また飯綱町で5月6日と平年より3日早く、昨年並みとなった。なし「南水」の落花は長野市真島で4月20日と平年より5日早く、昨年より9日遅い。もも「川中島白桃」の落花は長野市川中島で4月24日と平年より3日早く、昨年より7日遅い。ぶどう無核巨峰の展葉は長野市松代で4月21日と平年より4日早く、昨年より1日早い。5月10日の遅霜によりワイン用を含むぶどうでは主芽に被害が出ている。またなしでは浮皮症状の発生が確認されており、りんご・ももにおいても今後、サビの発生が予想される。

## 【野菜】

### (1) アスパラガス

平坦部及び準高冷地帯の半促成作型の施設、露地作型は収穫中である。一部、低温、凍霜害の影響を受け、生育が抑制傾向となっている。年生の若い株や前年の病害の発生により養分の蓄積が少ないほ場から、立茎を開始している。

### (2) 果菜類

半促成加温作型のキュウリの生育は収穫中であり、無加温の施設も4月下旬から定植が始まる。半促成加温作型トマトの生育は、ほぼ順調であり、収穫中である。害虫の発生は若干早くから見られたが、概ね特筆すべき病害虫の発生は見られていない。

ピーマンの定植が各地で始まっている。4月下旬に定植したほ場の一部で凍霜害の被害を受け、再度定植予定。

## 【花き】

シャクヤクは出荷がピークとなっている。3月に平年よりも気温が低かったものの、4月から気温が上昇したため、平年並みの生育となっている。

# 作物

## 1 大豆

### (1) 排水対策

土壌水分が高い状態で耕耘すると碎土が不十分となり、大きな土塊や湿害により出芽不良となります。

生育初期に土壌の過湿が続く場合、根を広げることができず、莢実肥大期に干ばつ害を受けやすくなり、収量に大きく影響します。特に、水田に栽培する場合には、周囲に排水溝を掘ります。排水不良のほ場ではさらに5m～10m間隔で排水溝を設置して、各溝を周囲溝に繋げたうえで水尻に接続させ、雨水がすぐにはほ場外へ排水できるようにしてください。畔立て栽培は湿害回避に有効です。この場合、生育期間中の中耕培土作業に合わせ、排水溝の整備も行います。

### (2) は種

長野管内の標準のは種時期は、5月末～6月中旬（以下、標準播き）です。は種作業は、降雨前か梅雨の晴間を見て行いましょう。6月下旬から7月上旬は遅播きとなります。は種が早すぎると草丈が伸び、倒伏しやすくなります。また、遅いと生育量が確保できません。早すぎたり遅すぎたりしないようには種を行いましょう。覆土は3cm前後とし、畑の土が粘質土の場合浅めとします。

### (3) は種量と栽植密度

目標苗立ち本数は標準播きで9,000本/10aです。は種時期が遅いほど生育量が不足して収量が低下するため、面積当たりの株数を増やす必要があります。麦作後など遅播きの場合、畝幅や株間を狭め18,000～20,000株/10aを目標とします（表1）。

標準播きの畔立て栽培では、中耕・培土などの管理作業に使用する機械の幅に合わせて畔幅を60～80cm程度とし、株間は10～20cm程度とします。遅播きの狭畔無培土栽培では、畔幅を30～45cm程度とし、10a当たり18,000～20,000株になるよう株間を設定します（表2）。自家採種する場合には、未熟粒、変質粒などの障害粒の他、特にウイルス病、紫斑病にり病した褐斑粒、紫斑粒は必ず除去しましょう。

表1 品種別播種量の目安

粒大	品 種	標準播き 播種量※ 目標 9,000 本/10a	遅播き 播種量※ 目標 18,000～20,000 本/10a
大粒種	すずほまれ、ギンレイ 東山 231 号（すずみのり）な ど	5 kg/10a	10～11 kg/10a
中粒種	ナカセンナリ など	3～4 kg/10a	8～9 kg/10a

※すずほまれ、ギンレイ、東山 231 号については、100 粒重が 35g 前後、ナカセンナリについては 30g 前後として、概ねの目安を示している。種子の大きさを確認してから、は種量を決定すること。

※株当たり、1～2 粒播き（平均 1.5 粒）の設定。

表2 は種期、畔幅による株間の目安

	畔 幅					10a 当たりの 目標苗立本数
	30 cm	40 cm	50 cm	60 cm	70 cm	
株 間	—	—	17.8 cm	14.8 cm	12.7 cm	9,000
	14.8 cm	11.1 cm	—	—	—	18,000
	13.3 cm	10.0 cm	—	—	—	20,000

※株当たり苗立率 80%の設定。

#### (4) 整地・施肥

大豆は子葉が大きいいため、碎土が十分でないとう芽不良が起こりやすくなります。は種前の耕起は、過湿な条件では行なわないようにします。

開花期以降、地力の低下があると、子実に「ちりめんじわ」が発生しやすくなります。昨年度、ちりめんじわが見られたほ場では、地力向上のため完熟堆肥を 800~1,000kg/10a 施用します。未熟堆肥の施用は、タネバエの発生や発芽障害の危険があるので使用は避けてください。連作を続けると地力が低下するので、作付ほ場を数年間隔で替えることも有効です。

また、遅播きの場合には、標準よりも 50%程度増肥します。前作の麦稈をすき込む場合には、すき込み量に応じて 3~5kg/10a の窒素を増肥します。

土壌の酸度は pH6.0 を目標とし、石灰質資材を施用します。例えば中粘土の腐植質土壌の pH を 1 上げるのに要する石灰資材（炭カル）は 10a あたり概ね 350kg です。重粘土や、腐植に富む土壌であれば、これよりやや多めの施用が必要になります。逆に適正な酸度の場合には、施用は不要です。経年で作付けする中で原因が思い当たらないけれど減収してきた場合など、一度土壌診断を行い農地の土壌酸度を把握することも大切です。

#### (5) 立ち枯れ性病害（黒根腐れ病、茎疫病）対策

管内の大豆連作ほ場では黒根腐れ病が問題となっています。排水の悪いほ場や地下水位の高いほ場で発病が多い傾向ですが、連作によって菌密度が高まると畑作ほ場でも発生します。この病気は糸状菌による土壌伝染性病害で、防除が困難です。対策は作付圃場の転換が一番効果的です。

また同様に排水の悪いほ場では茎疫病の発生も見られます。県内の広い地域で見られ、汚染ほ場ではかん水により急激に広がるため注意が必要です。

いずれの病害に対しても、畝立てや排水対策などにより、ほ場内に滞水させない工夫が必要です。

## 2 麦

### (1) 赤かび病

- ・赤かび病が発生してしまうと、商品にすることが出来ないので十分注意しましょう。

#### 【発生しやすい条件】

- ★開花期に曇天・降雨・高温(25℃程度)が続くと、「赤かび病」の感染リスクが高まります。
- ★赤かび病の感染好適条件については、アスザック株式会社 P&D 事業部のホームページからも確認できます (2024年5月現在)。
- ★過剰な窒素追肥を行うと、遅れて出てきた分けつが有効化し、開花が長引くため、感染期間が長期化し、長期間の防除が必要となります。
- ★凍霜害や倒伏による不稔の発生は感染を助長します。

#### 【薬剤防除のポイント】

出穂期に降雨が続く場合は防除を徹底します。降雨等天候不順がさらに続く場合は追加防除が必要です。

- ★1回目防除時期：小麦の開花期（出穂期後7～10日頃）
- ★追加防除：1回目防除の10～14日後

#### 【収穫・調整時の注意事項】

天候等の状況から、赤かび病の発生が懸念される場合は、黄熟期\*前にはほ場を見回り、発生の有無を確認します。赤かび病が発生したほ場では、刈分けを行い、健全な麦に混入させないようにしましょう。

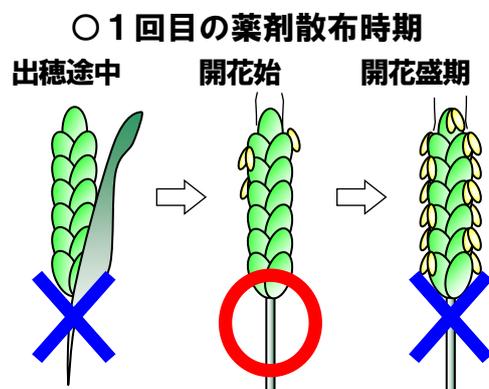
収穫期の降雨は赤かび病をまん延させるので、適期収穫に努めましょう。また、収穫後に高水分のまま放置すると貯蔵中に赤かび病菌が増殖します。収穫したら速やかに乾燥作業に移行してください。

平年の小麦の成熟期は6月20日頃ですが、今年は高温により成熟期が早まる見込みです。籾の色と硬さをよく観察し、適期収穫を心がけてください。

※) 黄熟期：6月上旬の穂が青い時期。



赤丸内(褐変している部位)  
が赤かび病感染部位



感染前の穂に薬剤を十分に付着させることが重要

# 果 樹

## 1 無核栽培ブドウ

### (1) 開花前後の管理

#### 摘 心

- ・着粒安定・果粒肥大のため、開花3日前～満開期にかけて行います。
- ・ナガノパープルは、開花を確認した後に図2のように先端部分を軽くつまむ程度に摘心します。シャインマスカットは、房先7～8枚程度（基部葉から11～12葉）の所で摘心します。

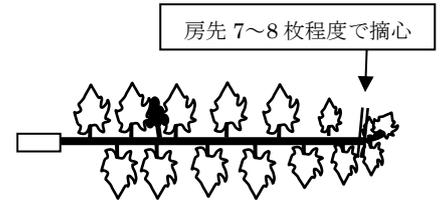


図1 摘心位置

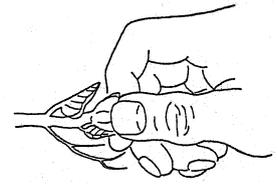


図2 摘心の方法：  
未展葉部分を摘み取

#### 房切り（花穂整形）

- ・花穂が伸びきり、房の上部が咲き始めた頃～満開期までに行います。
- ・花穂の先端を利用し、花穂長は開花始めの時点で下記を目安にしてください。

	開花始め	満開時
無核巨峰、ナガノパープル	2.5cm	3 cm
シャインマスカット	3 cm	3.5cm
ピオーネ、クイーンニーナ	2.5cm	3 cm

いずれも  
花穂先端は摘まない

### (2) ジベレリン処理

- ① 1回目：満開時（房切り後の花穂の100%が咲いた時期）～満開3日後に花房浸漬 処理します。

#### ■ 処理濃度

品 種	処 理 濃 度
ピオーネ、無核巨峰	ジベレリン 12.5～25ppm＋フルメット液剤 5ppm
ナガノパープル、クイーンニーナ	ジベレリン 25ppm
シャインマスカット（特に若木の場合）	ジベレリン 25ppm＋フルメット液剤 2～5ppm

#### 【注意点】

- ア 花冠があるとサビとなりやすいので、処理前に花冠を手などで落とす（特にナガノパープル）。
- イ 生育が揃わない場合は、2～3回に分けて処理する。
- ウ 処理後は、棚や主枝を揺すり余計な薬液を落とす。
- エ 処理の目印として、きゅうり等の接木用クリップを使うと便利。

② 2回目：満開 10～15 日後（小豆大：果粒横径 8～9 mm）に果房浸漬処理します。

■ 処理濃度

品 種	処理濃度
ピオーネ、無核巨峰	ジベレリン 25ppm
ナガノパープル クイーンニーナ	
シャインマスカット	

本資料は、令和 6 年 5 月 1 日現在の農薬登録状況に基づき作成しました。農薬の使用に当たっては、最新の登録状況を確認してください。

【注意点】

- ア 処理時期が早いと肥大が劣り、遅いとブルーム（果粉）が溶脱し、着色も遅れる。
- イ 処理後は房を揺すり、確実に水滴を落としてサビ防止！
- ウ 湿度が高く薬液が乾きにくい日や、午後になってからの処理は避ける。

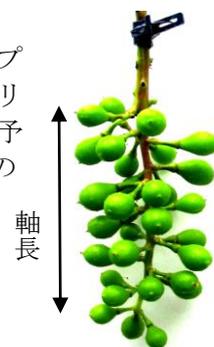
摘 粒

1 回目のジベレリン処理から 5～10 日程すると、果粒間の肥大差がはっきりするので、2 回目のジベレリン処理前に一通り摘粒を行います。この時期は指でも摘粒できるので効率的です。

■ 摘粒の目安

品 種	軸長	支柄段数	着粒数
無核巨峰	6.5cm	13～14 段前後	30 粒程度
ナガノパープル	7cm	13 段前後	30 粒程度
シャインマスカット	7～8cm	13～15 段前後	35 粒程度
ピオーネ、クイーン ニーナ	6cm	10～12 段前後	30 粒程度

注：  
写真は「ナガノパープル」で 1 回目ジベレリン処理 10 日後に、予備摘粒を実施したもの



2 凍霜害を受けたほ場の事後対策

(1) 全 般

- ア 園地ごとに被害発生状況をよく確認し対応しましょう。
- イ 県で作成した凍霜害対策動画「ずく出して凍霜害対策」や凍霜害対策パンフレットを活用し、事後対策を行いましょう。

(<https://www.youtube.com/playlist?list=PLbafRhw8yQcFZGUwdddCiuyy1zSgoTp9>)

- ウ 着果量を調節し、その他の管理もしっかり行うよう努めましょう。
- エ 徒長枝切りや枝の誘引等により、花芽の充実を図りましょう。
- オ 窒素の追肥はしないでください。
- カ 防除は通常の体系により励行してください。



長野県農政部  
youtube チャンネル

## (2) りんご

- ア 果実の肥大状況やさびが明らかとなつてから、被害の小さい園地から摘果を始めてください。
- イ 中心果の被害がひどい場合は側果の健全果で代用し、肥大が良好で、形状が良く、さびが少ないものを残します。

## (3) なし

- ア 結実を確認して摘果作業を開始します。
- イ 浮皮の程度によって残す果実を判断します。浮皮のひどいものは果実が陥没しますが、程度の軽いものは被害が分からなくなる場合があります。
- ウ 被害が大きく、着果量が不足する場合は、着番果に関係なく果実を残してください。
- エ 短果枝型の品種（南水、二十世紀、サザンスイート等）で着果が見られない側枝では、徒長枝が多数発生してくるため、新梢管理をしっかり行うとともに、棚付けしてある紐をはずして先端を立ち上げるようにしてください。

## (4) ぶどう

- ア 新梢管理
- ・主芽の被害が多い場合は、主芽が脱落して副芽からの新梢が混在します。副芽は花穂が小さい場合があるので、新梢生理の際には花穂の素質を確認してから行いましょう。
  - ・平行整枝短梢せん定栽培の場合には、花穂が無くとも各芽座に新梢を残し、葉面積確保に役立っています。房数は基準量を確保するようにしましょう。
- イ 今後の管理
- ・副芽が多い場合はかん水を行い、副芽の伸長を促します。追肥は必要ありません。
  - ・房切りは1枝1房にこだわらず、多めに房切りしておきましょう。
  - ・副芽の利用が多い場合、開花が10日程度遅れ開花期が長引くと推測されますが、房切り等の管理は時期に合わせて行いましょう。開花期が梅雨期にかかり、降雨が多い場合には病害虫の発生が心配されるので、防除は2週間以上空けないように注意しましょう。

# 野菜

## 【梅雨期の管理】

近年は、異常気象による災害が頻発し、いわゆるゲリラ豪雨と呼ばれるような、一時期に集中する大雨がしばしば発生しています。そのため、肥料分の流亡、根痛みによる生理障害の発生や、様々な病害の助長が、収量品質の低下を招いています。

また、この時期は平均気温が20℃を超え湿度も高くなるため、病害が発生しやすい時期を迎えます。病害対策には予防が重要で、降雨の前後にすみやかに防除しましょう。

- ・通風確保や防除薬剤がかかりやすい草姿となるよう、整枝、摘葉を行いましょう。
- ・パイプハウスでは破れや穴の補修、たるみや傾きがないように、マイカー線を張りなおしておきましょう。
- ・敷きわらやマルチにより泥はねを防止し、地際からの病害の発生を防ぎましょう。

## 【水田転作畑での排水対策】

多量な降雨があっても、野菜の生育に影響を及ぼさないようにするためには、ほ場の排水性を高めることが極めて重要です。特に水田転作により導入される事例が多いジュース用トマトのほ場等では、排水性改善は欠かせません。

すでに定植が終わっていますが、改めて主な対策についてまとめました。

### 1 地表面排水の改善と排水性のよい畝をつくる

降雨に伴う排水性の改善には、まず地表面排水を効率的に行うことが求められます。ほ場内に雨水を貯めないために、降雨時の排水状況を確認し、ほ場内への雨水の流入を防ぐとともに、ほ場周囲に明渠（排水路）を設置し、雨水を早期にほ場外に流出させる工夫を行いましょう。

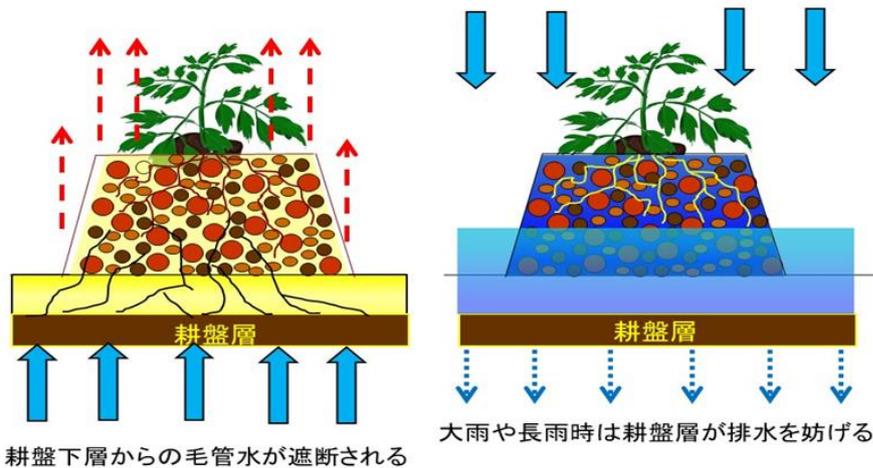
畝の立て方も検討したいところです。畝立てにあたっては、畝間を均平にし、畝を短く配置する、畝に勾配をつける、畝の方向を明渠や暗渠と直交させる、といった工夫をしまししょう。地下水位の高いほ場や、地表面排水の難しいほ場では、極力高畝とします。

### 2 耕盤破碎による土壌改善

水田転作ほ場や大型機械が頻繁に入っているようなほ場では、作土層の下に「耕盤」が形成されます。この存在が、降雨時の排水性を著しく阻害するばかりか、逆に高温干ばつ時には、下層からの水の動きを遮断し、干ばつの被害を助長しトマト等の根に大きなストレスをかけ、生理障害を起こすこととなります。

このため、いかにこの耕盤を壊すかが重要となります。

## 耕盤層は、干ばつ、湿害を助長する



こうした物理性の改善には、機械力が欠かせず、以下に近年注目されている主な機械導入例を紹介します。

### (1) 動力エンジンオーガーによる簡易排水改善

動力エンジンオーガーとは、エンジン付きのらせん穴掘り機のことです。縦穴を簡単に開けることができます。ほ場の通路や低い部分等、排水不良個所に動力エンジンオーガーで縦穴を開け土壌の下層部への排水を促します。穴をあける間隔は約2m程度とします。穴の深さは概ね40cm～50cmで、耕盤層を貫かせることが重要です。穴にはもみ殻を詰め（一穴当たり4～6リットルのもみ殻が必要）、鎮圧することで排水穴としての機能を維持させます。

この手法は、簡易的ですが、大面積の施工には向きません。また、地下水位の高いほ場では、逆に縦穴を開けることで滞水しやすくなる可能性があるため、事前に地下水位を確認して、施工できるか確認しましょう。

また、下層に石礫が多いほ場では、作業性が悪く、十分な穴の深さを確保できないこともあるので注意します。

#### 手順



①エンジン付きオーガーで排水不良箇所に縦穴をあける  
(直径10cm×深さ40～50cm程度)

縦穴は約2m間隔で設置  
(場所により1.5～1mも可、多いほど効果は高い)  
所要時間：約5分/穴

2m間隔で30m実施すると約30分程度必要



もみ殻の必要量  
4～6ℓ/穴

### (3) カットドレーン

40～70cm程度の深さに刃を入れ、トラクターで牽引することで、10～15cm角の連続した空洞(穿孔暗渠)を作ることができます。簡易な暗渠を比較的短時間に作るができる手法です。施工方法としては、ほ場の法面や明渠の取れる位置から2m間隔で直線状に牽引するか、排水位置から放

射状に牽引して暗渠排水を促します。

しかし、砂地や石礫の多いほ場での施工はできません。粘土質や泥炭土向けです。牽引には力が必要なため、トラクターは馬力が 60 ps 以上が必要です。



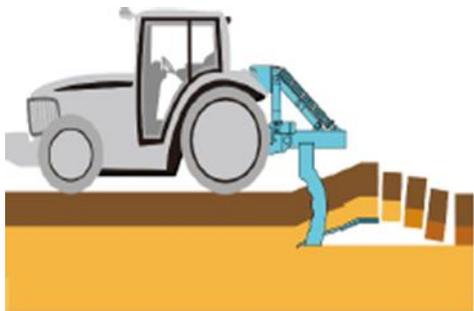
▲施工後断面(深さ700mm)  
カットドレーンは土を深層から持ち上げ、最深層部を切り抜いて透空孔部をずらし空洞の耐久性を高める。



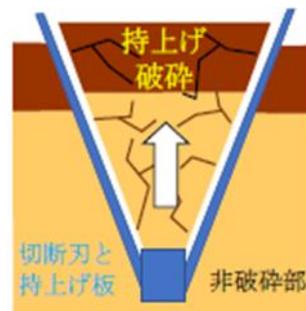
※一部加筆  
カットドレーン (北海コーキ社カタログより)

#### (4) カットブレーカー

V字状の破碎刃をトラクターで牽引することで、V字ブロック状に耕盤を破碎しながら持ち上げ、後方の溝に落とすことでV字状の破碎溝が形成されます。この破碎溝は2～3年ほど維持でき、この溝が排水性を高めます。プラウ耕のように、下層の土壌が表面に出ることがないため作土層の性質が変わってしまうことがなく、土壌を膨軟化でき、高い排水性が期待できます。



V字状の切断刃を挿入して土塊を持ち上げて破碎、後方に落下させて埋め戻す。



破碎部と非破碎部が形成され、地耐力の維持が可能となる。

この手法は、多少石礫がある土壌でも施工でき、多く種類の土壌で対応可能です。ただし、直径 30 cm を超えるような大きな礫が含まれるほ場や埋木があるほ場では使用できません。なお、この手法は破碎強度が強いため、3年以内に復田するような水田転作ほ場での施工は望ましくありません。



ジュース用トマトほ場での実演（佐久市）

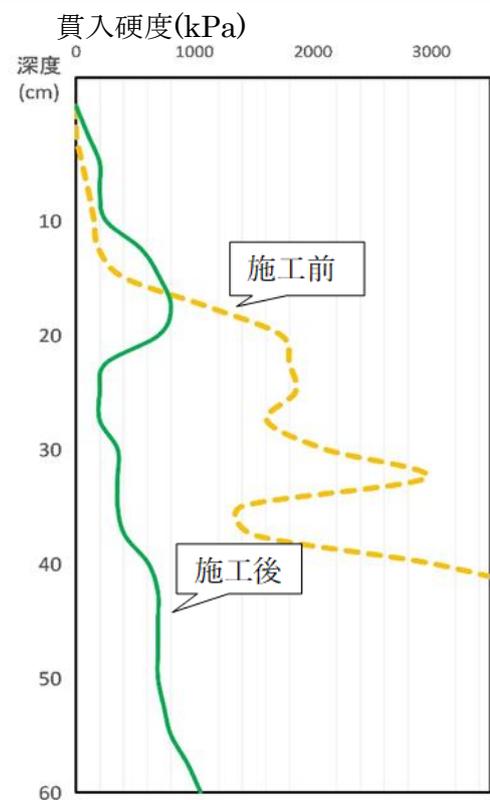
令和4年（2022年）に行った検討結果では貫入土壌硬度計で計測したところ、施工前では、作土層以下（深さ20 cm以下）の硬度は急激に増していました。施工後については、深さ60 cm程度でも硬度が上がることなく、土壌の深耕、破砕ができたことを確認できました。

（右図）

そして、施工区のほうがジュース用トマトの収量は高い結果が得られました。

検討ほ場周囲が水田のため、降雨の後は処理区でも畦通路部に水が溜まってしまっていました。

しかし、処理区では土壌の下層まで根が張れたと考えられ、高温干ばつ時には土壌下層部からの給水が行えたためか、順調な生育となり、収量が上がったと考えられました。



# 花き

これからの時期は梅雨もあり、湿度が高くなります。毎年この頃から病気の発生も増えますので、風通しや日当たりを考慮して芽掻きや芽整理等を早めに行いましょう。病虫害の被害を受けた茎や葉は速やかにほ場外へ持ち出し、土を掛けて埋めるなどの方法で処分しましょう。病虫害防除は予防が肝心ですので、時期を逃さないよう心掛けてください。乾燥傾向が続くと、アブラムシ類、アザミウマ類、オオタバコガ等の夜蛾類の被害も目立ってきます。ほ場周辺部の除草を徹底し、害虫の増殖防止に努めます。

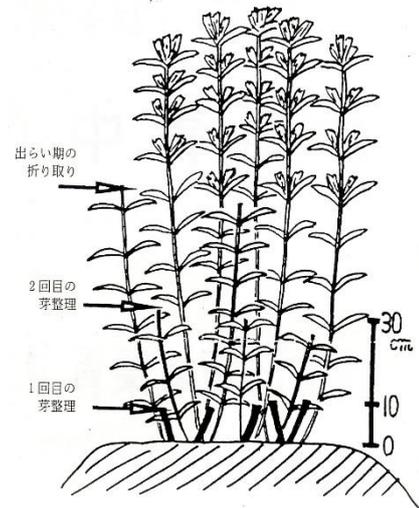
## 1 リンドウ

### (1) 茎数整理

第1回目の芽整理は20cmで行います。生育の悪い物、細い物から摘み取ります。第2回目の芽整理は30cmで行い、細い物、生育の遅いものの成長店の部分を摘み取ります。仕立て本数は坪当たり180本を目標とします。(1株当たり7~8本仕立て2~3本は切花しない。)



写真1 リンドウの萌芽



### (2) 葉枯病対策 (セプトリア)

褐色の円形状の病斑で周囲が紫色を帯びることが多く、古い病斑の中央部に細かい黒点を形成します。伝染力が強く多発後の薬剤散布では効果が低くなります。

伝染経路は、前年の被害残さや土壌から雨水の跳ね上がりなどで下葉に一次伝染し病斑で形成された胞子は空気伝染で広がります。やや低温と多湿条件下で蔓延しやすく9月に被害が多く目立つことが多く多窒素や過繁茂も発病を誘発するので注意します。

防除のポイント

- ①発病が認められたら直ちに病斑のある葉を取り除きほ場外へ持ち出して処分して下さい。
- ②通路や株元の除草を徹底して風通しをよくします。
- ③雨が続き発生しやすい状況になったら、予防的に防除を行いましょう。



写真2 リンドウ葉枯病

## 2 トルコギキョウ

### 普通作型の管理（6月～8月切り花）

#### （1）分枝整理

抽だいが進むと、地際部から分枝が発生しています。分枝は品種によって発生に差がありますが、分枝を放置しておくとう主枝の生育が劣るので、早期に分枝元からかき取ります。

この作業は、生育に応じて、数回に分けて行います。分枝を摘除する部位は、品種や作型によって異なりますが下から6節程度までの物を摘除します。

#### （2）花蕾整理

大輪系品種は早めに蕾数を制限することで、花が一段と大きくなり、花茎のボリュームもつきます。また、余分な蕾を早く取ることで茎が締まり、しっかり硬くなります。蕾が出た後、開花の揃いを考えて余分な蕾を取ります。ほ場内で早めに行うことで掻いた痕の傷を目立たなくし、品質の向上にもつながります。

## 3 シャクヤク

#### （1）切り花後の管理

施肥は、開花から概ね2ヵ月後を目安に、窒素、リン酸、カリの三要素ともa当たり分量で2年目株は0.3kg、3年目以降の株は0.4kgを目安に施用します。切花以降の管理次第で、翌年の開花本数も決まるので、乾燥と病害虫に注意し、秋に霜が降りるまでは葉を健全に保ち、株の養成に努めて下さい。うどんこ病などが発生すると、株が枯れることはありませんが、次の年の生育が劣りますので定期的な防除を行います。



写真3 シャクヤク

## 4 アリウム（ギガンチウム、オオニソガラム等）

#### （1）切花後の管理

花が終わったアリウム類は球根に栄養を蓄えさせる時期になります。ものによっては、葉が残らず、十分に肥大しているものがあり、また、ほ場の作付け計画上、球根を掘り上げることになります。晴れた日を選んで掘り取り、腐れの見られるものは捨てて、日陰で自然に乾燥した後、大きさを選別し、根を取るなどの調整をした後、直射日光の当たらない涼しい場所で保管します。

## 【飼料作物】

### アルファード液剤は飼料用とうもろこし3～5葉期に高い除草効果

- ◎難防除雑草オオブタクサに効果の高いアルファード液剤は、飼料用とうもろこし3～5葉期に10a当たり100～150mlを、散布量100～150リットル（666～1500倍）に処理すると1年生雑草に効果的です。
- ◎6～7葉期でも、収穫まで45日前までならば150mlを処理することができますが、総使用回数は1回なので3～5葉期のどちらかで散布します。
- ◎散布時後、展開葉に薬害（黄斑）を生じる場合もありますが、生育や収量には影響しません。

## 【酪農】子牛の下痢防除対策について

### 子牛下痢症の予防

- 1 畜舎、特に床を清潔に保つ。→細菌、ウイルス、寄生虫の繁殖防止。
- 2 分娩前後の母牛の給与飼料に注意。・サイレージ、濃厚飼料の多給をさける。・飼料の内容を急に変えない。・硝酸態を多く含む粗飼料の多給は避ける。
- 3 分娩室内あるいは子牛牛舎の敷料に注意。・十分な量の敷料を敷く。・ワラがよい。細かく切断せず、できれば長いまま使う。→床の通気が良くなり乾燥する。保温性がよい。下痢を発見しやすい。・細断したワラ、のこくず、もみがらでは下痢の発見が遅れる。寄生虫の感染源となることが多い。
- 4 分娩直後に子牛の臍帯を消毒。
- 5 畜舎の環境整備：子牛の高さになってみる。・夏場の通風：外気を取り入れ畜舎内の空気を外へ。床の乾燥。・冬場の保温：こたつ、保温箱、投光器の利用。火事に注意！・糞尿、堆肥の処理→有毒ガスの発生・畜舎の構造：理路整然にする。天井はなるべく高く。
- 6 分娩室を2ヶ所以上離れた場所に設置する。
- 7 定期的畜舎消毒と駆虫薬の投与。
- 8 初乳を分娩後4時間以内に十分に飲ませます。
- 9 乳房炎乳・異常乳を与えない。
- 10 代用乳は一定の温度で、量は徐々に増やす。
- 11 母牛や他の子牛の濃厚飼料を食べさせない。子牛の月齢により群を分ける。
- 12 早い時期より良質の乾草を子牛が食べやすい場所に置いておく。敷料を食べないように。乾草の長さは口の幅より長くする。

### 畜舎消毒について

- 使用消毒剤：グルタクリン 250～500倍溶液
- 散布方法：8リットルのジョロで散布。1坪当たり1リットルあるいは1分娩室8リットルを目安に散布する。一番有効なのは動力噴霧器。
- 消毒間隔：分娩室は分娩予定1週間前に3回以上、分娩後は3～7日に1回以上・畜舎全体は7～10日に1回以上・子牛が下痢をしたらその都度行う。

## 【繁殖和牛】産後の処置

分娩が終わったらすぐに産後処理を始めます。産道裂傷等による多量出血がなければ、まず子牛の処理を行います。

### 1 子牛に対する処置

ア. 気道確保 鼻周りに付着した粘液を拭き取り、呼吸を始めたか確認する。呼吸を始めない場合は後ろ足を上にしてつり下げ、胸部を平手でたたいて羊水を吐き出せる。呼吸を始めるまで5分間程度は続ける。(分娩に伴ってへその緒が切れますが、呼吸開始3分前以前に切れた場合は酸素欠乏により死亡する場合があります。)

イ. へその緒の消毒 呼吸開始を確認したら、へその緒にイソジンをつぶり注ぐ。

ウ. 羊水等の拭取り 羊水や粘液で濡れている体を丁寧に拭き取る。特に寒い時期は、体熱が奪われるので念入りに行う。

エ. 体重測定。

オ. 初乳給与。

#### <子牛が自力で立てる場合>

体重測定後、母牛のもとへ戻し初乳を十分に飲むまで注意深く観察する。(初乳を飲んだかは口の周りに乳が付着しているかどうかで確認する。)

#### <子牛が自力で立てない場合>

母牛の初乳を搾って与える、もしくは凍結初乳や人工初乳を与える。

### 2 母牛に対する処置

ア. 裂傷部分の消毒陰部周りや産道にイソジンをつぶり(50cc程度)注ぐ。(分娩に伴って傷ついた可能性のある場所の消毒)

イ. ビタミン剤投与ビタミンADE剤をビタミンAとして50万単位を経口投与する。

ウ. フスマ湯給与(疲労度が高い場合)分娩が長引き疲労度が高い場合には、フスマ湯を飲ませても良い。この際、1回目のフスマ湯をすぐに飲み干すようであれば、ぬるま湯を欲しがるだけつぎ足す。

エ. 後産処理分娩後早ければ1時間、遅くとも24時間以内で胎盤(後産)の排泄がある。そのままにしておくと母牛が食べてしまうが、食滞を起こす場合があるため発見したらなるべく廃棄する。分娩後24時間を経過しても後産の排泄がない場合は、獣医師に相談して治療を受ける。

オ. 経過観察授乳後に乳房を触り、子牛が初乳を十分飲んでいないか、授乳後の乳房の張りの回復が十分か(産乳量が十分あるか)等を観察する。(フスマ湯の作り方:30度程度のぬるま湯10リットルにフスマ500gを加え、さらに食塩50gを加える。)

## 【肥育牛】素牛の枝肉成績 俵牛作りより

### ○導入体重別枝肉成績

JACCネットのデータでは、去勢・牝のどちらも導入体重が大きい素牛ほど、枝肉重量、ロース芯面積が大きく、バラも厚い傾向にありました。発育が順調な素牛は枝肉成績が良く、結局は儲かると言えます。導入体重が大きいと、仔牛から肥育までの発育が順調になります。

### ○導入時日齢別枝肉成績

肥育農家は素牛の日齢によって肥育期間を決定するより、肥育期間を一定に定めているために、導入日齢が若いほど肥育の出荷月齢が早くなる傾向があります。また、素牛導入月齢が若いグループほど、肥育時のDGが優れています。

### ○日齢DG別枝肉成績

平均の日齢DGが高いグループは、枝肉重量、ロース芯面積が大きい傾向にあります。最も高いBMSNoを示したグループは、日齢が1.2～1.3のグループで、仔牛の段階で発育が順調であった素牛は、肥育に入ってから順調に発育します。過肥で尾枕がついた牛という意味ではなく、発育途中で食い止まりがこなかった牛が共励会に出品されています。

# きのこ

## 1 栽培施設の浄化について

生産量を調整し施設稼働のない時期に、栽培施設の環境浄化を徹底しましょう。基本的な浄化手順は、施設内を完全に空にし、①吸引掃除→②拭き掃除（水洗い）→③乾燥に行います。必要に応じて除菌剤やオゾンガスを使用します。

### （１）吸引掃除

ほうきや圧縮空気を使うと、ホコリなどの微細な汚染源が巻き上げられるため、栽培室の床に落ちている培地屑などは、掃除機で吸引するようにします。また、栽培室の栽培棚の棧部分についても収穫屑などがある場合も同様に掃除しましょう。

### （２）拭き掃除（水洗い）

有機物が残っていると殺菌力が低下するので、拭き掃除は、吸引掃除の後に行います。除菌・乾燥させた清潔なモップやタオルなどを使用し、0.01%（特に汚れの著しい箇所は、0.1%）の次亜塩素酸ナトリウム液\*で同じ方向に拭き取ります。また、モップやタオルはこまめにすすぎ、すすぎ液が汚れた場合は早めに取り替えましょう。

また、オゾンガスを使用する場合は、使用方法を誤ると十分な効果が得られないばかりか、人体への危険も伴いますので、必ず発生器のマニュアルに沿って使用しましょう。

※次亜塩素酸ナトリウム液は金属を腐食させる作用があるため、金属製の素材には使用しないようにしましょう。老朽化し腐食した棚を拭き掃除する場合は、金属片の落下など異物混入の原因となるため、水拭きで行います。

### （３）施設の乾燥

次亜塩素酸ナトリウム液やオゾンガスは残効性がなく、2日経過後には再びバクテリアなどが増殖してしまいます。そのため、拭き掃除の後は栽培室を乾燥させて害菌等の増殖を抑えましょう。

### （４）機械・資材等の掃除

菌かき機や掻き出し機は、付着している培地カスなどが汚染源となりますので、念入りに掃除を行います。栽培ビンは、培地残さが残っていないことを確認してから保管します。残さが残ってしまうと、害菌ばかりでなくダニやキノコバエの発生源となる場合があります。キャップにも培地カス等が付着を確認するとともに、キャップの劣化や内部のウレタンが収縮した場合は順次更新します。エノキタケ栽培で使用する巻紙について、ロウ紙などで水分を含んだものは、天日などで十分乾燥させておきます。乾燥機があれば70℃程度の高温で除菌も兼ねることができま。機械や資材は洗浄後に、よく乾かしてから保管することが大切です。

### （５）栽培室の浮遊菌調査

環境浄化対策の効果を確認する方法として、栽培室の浮遊菌の密度を調査する方法（落下菌調査）があります。無菌培地が必要になりますので指導機関にご相談ください。

## 小川村で雑穀講習会を開催しました

4月26日、小川村役場で雑穀講習会を開催しました。小川村では遊休荒廃地の解消等を目的に、雑穀振興に取り組んでおり、栽培希望者にはソルガム（村では“赤もろこし”と呼ばれています）の種子の配布もしています。講習会では、村内で特に生産量が多いソルガム、キビ、アワの基本的な栽培技術について学んでいただくとともに、生産者の方々が雑穀栽培で悩んでいることや工夫されていること等について、意見交換を行いました。

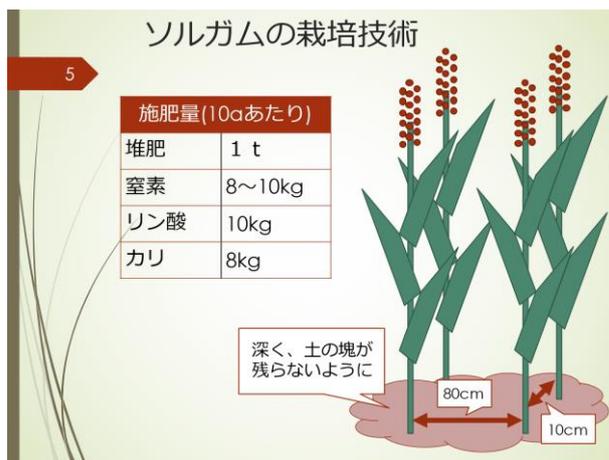
当センターからは直まきでの栽培方法を紹介しましたが、現地では苗を移植する方法が主流だそうです。インターネットや参考書に載っていないその土地に合わせた栽培方法が開発され、受け継がれており、センター職員にとっても学びの多い講習会となりました。

8月下旬ごろには収穫に向けての講習会を開催する予定です。

(地域第一係 矢崎)



講習会の様子



講習会の資料から  
「ソルガムの栽培技術」

# 地域のできごと

R6.6

## 「長野地域フラワーセミナー」の

### 開講式・第1回講座を行いました❀

5月16日にJAながのアグリサポート屋代にて、長野地域フラワーセミナーの開講式及び第1回講座を開催しました。

本セミナーは、長野地域で出荷・販売を目的として新たに切り花栽培を始めたい方を対象に毎月1回開催し、11月迄の全7回の講座を予定しています。初心者の方でも導入しやすい露地品目を中心としたセミナー内容となっており、栽培の基礎知識・技術の習得を目的としています。

今年度のセミナーには、7名の受講申し込みがあり、今回の講座は6名の参加となりました。開講式の受講生自己紹介では、今現在トルコギキョウやピーマン、ぶどうを栽培している方、栽培経験は無く生花店にお勤めしていた方など様々な方がいらっしゃいました。

その後の講座では、「花づくりの初めの1歩～栽培の流れ、経営編～」と題し、花を栽培するにあたってのほ場条件や必要資材、大まかな栽培の流れなどの説明を行いました。また、JAながのから「ソラナムパンプキン」の種を30粒程提供頂き、受講生の皆さんには早速栽培にチャレンジしていただくこととなりました。

講座後半では、千曲市内のシャクヤク、アリウムの栽培ほ場を見学しました。受講生からは栽培方法や、単収、切り前、日々の管理方法などについて質問がありました。

(地域第二係 野溝)



開講式で松崎支援センター所長からの挨拶



講座の様子



受講生の自己紹介



シャクヤク・アリウムの見学

# 信州の環境にやさしい農業定着・拡大 支援事業 申請者募集中！

（長野県有機農業推進プラットフォーム先進活動支援）

長野県では、有機農業の拡大や発展に向けた取組に必要な経費を支援しています。  
有機農業を盛り上げるため、地域で活動されているみなさま、ぜひご活用ください！

【申請受付期間】令和6年4月24日（水）～12月20日（金）

※本年度予算の上限に達し次第、受付終了

【申請対象者】

長野県有機農業推進プラットフォームの会員が  
半数以上で構成される3名以上の任意団体

支援金額

定額5万円

（※一部8万円）

## 「有機農業推進プラットフォーム」って？

有機農業に関心のある生産者、消費者、流通業者等の交流・学習の場として、長野県が開設した“ゆるやかな会議体”です。

生産者、消費者等、立場や所属を問わず、長野県の有機農業や有機農産物に関心がある方は、どなたでもお気軽・簡単にご参加いただけます！

## どんな取組みに使えるの？

- ・有機農業、自然農法での栽培技術講習会
- ・有機農業に先進的に取組む農業者や地域の視察
- ・有機農業や有機給食をテーマとした勉強会、啓発映画上映会
- ・保育園や小中学校での有機給食の試行（※支援金額8万円）
- ・地元有機農家紹介リーフレットの作成 …など

☆有機農業を盛り上げるための様々な取組みを対象としています！

「こんなことにも使えますか？」という取組みがありましたら、随時御相談ください。



←応募方法、有機農業推進プラットフォームへの加入方法は、長野県HPをCheck!

※アクセス解析のためにCookieを使用しています。

アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。

◎申請にあたっては、お近くの農業農村支援センターまでご相談ください！

＜お問い合わせ先＞

- |                |                    |                  |                    |
|----------------|--------------------|------------------|--------------------|
| ○佐久農業農村支援センター  | TEL : 0267-63-3147 | ○上田農業農村支援センター    | TEL : 0268-25-7126 |
| ○諏訪農業農村支援センター  | TEL : 0266-57-2913 | ○上伊那農業農村支援センター   | TEL : 0265-76-6813 |
| ○南信州農業農村支援センター | TEL : 0265-53-0413 | ○木曾農業農村支援センター    | TEL : 0264-25-2220 |
| ○松本農業農村支援センター  | TEL : 0263-40-1916 | ○北アルプス農業農村支援センター | TEL : 0261-23-6511 |
| ○長野農業農村支援センター  | TEL : 026-234-9514 | ○北信農業農村支援センター    | TEL : 0269-23-0209 |

# 信州の環境にやさしい農業定着・拡大 支援事業 申請者募集中！

(信州の環境にやさしい農産物認証取得チャレンジ・ステップアップ支援事業(推進事業))

長野県では、化学肥料や化学合成農薬を低減した環境にやさしい農業の拡大や発展、  
「信州の環境にやさしい農産物認証」の取得に向けた取組の必要経費を支援しています。  
環境のやさしい農業の波及に向け地域で活動されている皆さま、ぜひご活用ください！

【申請受付期間】令和6年4月24日(水)～12月20日(金)

※本年度予算の上限に達し次第、受付終了

【申請対象者】

「信州の環境にやさしい農産物」について  
“R6年産認証を受けている” または  
“R7年産認証の申請を予定している” 方

支援金額

定額5万円

(※11名以上の取  
組で8万円)

## 「信州の環境にやさしい農産物認証」って？

地域の一般的な栽培方法と比べて、化学肥料と化学合成農薬の使用量を原則50%※  
以上減らしてつくられた農産物を「信州の環境にやさしい農産物」として長野県知  
事が認証する制度です。

認証された農産物には、認証票(シンボルマーク)の使用が許可されます。

※果樹の一部品目においては、30%の特例があります。



## どんな取組みに使えるの？

- ・環境にやさしい農業の栽培技術講習会
- ・環境にやさしい農業に先進的に取り組む農業者や地域の視察
- ・環境にやさしい農産物を取り扱う店舗や直売所等の視察
- ・環境にやさしい農産物のPRや販路拡大に向けた商談会やマルシェ等への参加 など  
「こんなことにも使えますか？」という取組みがありましたら、随時御相談ください。



←応募方法や信州の環境にやさしい農産物認証の詳細は、長野県HPをCheck!

※アクセス解析のためにCookieを使用しています。

アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。

◎申請にあたっては、お近くの農業農村支援センターまでご相談ください！

＜お問い合わせ先＞

○佐久農業農村支援センター	TEL : 0267-63-3147	○上田農業農村支援センター	TEL : 0268-25-7126
○諏訪農業農村支援センター	TEL : 0266-57-2913	○上伊那農業農村支援センター	TEL : 0265-76-6813
○南信州農業農村支援センター	TEL : 0265-53-0413	○木曾農業農村支援センター	TEL : 0264-25-2220
○松本農業農村支援センター	TEL : 0263-40-1916	○北アルプス農業農村支援センター	TEL : 0261-23-6511
○長野農業農村支援センター	TEL : 026-234-9514	○北信農業農村支援センター	TEL : 0269-23-0209

# クマにご注意下さい！



各地でクマによる人身被害が多発しています。  
農作業に当たっては、クマとの不意の遭遇に十分ご注意ください。

## クマの出没を防ぐためには

### (1) 農作業や鳥獣対策を行う際に注意すべき事項

- ・ 作業中にラジオなど音の出るものを携帯するなど、自分の存在をアピールすること。
- ・ クマ類の出没情報に留意し、クマ類の行動が活発になる早朝、夕方の作業時には、周囲に気を付けること。
- ・ 森林、斜面林などのそばの農地は、クマ類の出没ルートとなりやすいので特に注意し、周囲の灌木の刈払いなどを行うこと。
- ・ 頻繁にクマ類が出没する地域においては、できるだけ単独での作業は避けること。

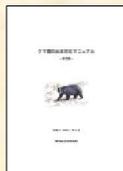
### (2) 誘引物の適切な管理

- ・ クマ類を誘引する生ゴミや野菜・果実の廃棄残さ等は適切に処理すること。
- ・ 農地では果樹園が最も被害を受けやすいところであり、収穫後の放置果実は適切に除去すること。
- ・ クマ類は、収穫物収納庫に入り込んで採食することもあるため、収納庫はきちんと施錠するなど管理を徹底すること。
- ・ 草刈機などに使われるガソリンなどの揮発性物質も、クマ類の誘引物となるため、保管場所等に注意すること。
- ・ 鳥獣対策により捕獲した個体がクマ類の誘引物とならないよう、処理施設への持ち込みや焼却を行わずに埋設する場合には、十分な深さに埋設するなど適切に処理すること。

## もしも、クマに遭遇してしまったら

(近くにクマがいることに気がついた場合)

- ・ 落ち着いて、クマに背を向けずに、ゆっくりとその場から離れましょう。
- ・ クマを驚かすので、大声を出したり、走って逃げるのはやめましょう。



詳細については、下記の環境省  
作成パンフレット等をご参照下さい

環境省作成パンフレット <http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5/docs5-kuma.pdf>  
クマ類の出没対応マニュアル - 改定版 - <http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>

農林水産省では、緩衝帯整備、電気柵などの侵入防止柵の設置、捕獲等の取組について鳥獣被害防止総合対策交付金で支援をしています。(詳しくは裏面をご覧ください。)



# クマ対策を支援しています！



## 鳥獣対策の基本

出没しにくい環境作りが大切です。組みあわせることで適切な対策を！

### 生息環境管理

- 誘引物（放任果樹、廃棄野菜等）の除去
- 刈払い、緩衝帯の設置による餌場・隠れ場の撲滅

## 鳥獣対策の鉄則！3つの柱！

### 侵入防止対策

→ 柵等の設置による侵入防止

### 個体群管理

→ 捕獲



## 交付金での支援内容※一部抜粋

### 刈払い等による生息環境管理

潜み場となる藪の刈払いや、移動ルート上の緩衝帯設置、誘引物となる放任果樹の除去などを支援します。



緩衝帯の整備



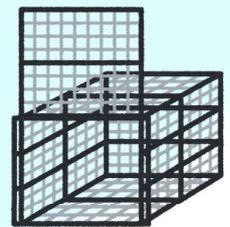
放任果樹の除去

### 侵入防止柵の設置や捕獲機材の導入

ほ場への侵入を防止するための柵の設置や、捕獲のための機材の導入を支援します。



侵入防止柵の設置



わなの導入

### 捕獲活動経費の直接支援

捕獲活動に係る経費を定額で支援します。



### 生息状況調査、研修会の開催等

生息状況など、専門家を入れた調査や研修会の開催を支援します。



### 【お問い合わせ先】

農林水産省 農村振興局 鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室  
 被害対策の基本について 03-6744-7642(直通)  
 交付金での支援内容について 03-3591-4958(直通)

# 6月の予定

当支援センターで今後予定している、情報交換会や講習会等の日程です。  
詳しい内容やお申し込みについては、各担当へお問い合わせください。

名称	日時	対象者	概要	お問合せ先
農畜産物加工 組織交流会	6/9 13:30~	長野地域管内農 畜産物加工施設	加工組織間の情報共有を行う とともに、HACCP についての 勉強会。	026-234-9536(岩崎)
農業士と支援 センターの意 見交換会	6/3 16:00~	農業士及び会友	支援センターの普及計画につ いて、意見交換(近年困ってい ること)。	026-234-9515(松橋)

